

みなさんこんにちは、飯沼中学校長の田村です。本日は、大変ご多忙の中、本校1年生の「キャリア教育」の一環であります、「職業についての学習」のために、ご来校いただきました皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。本日はどうぞよろしくお願ひします。

さて、1年生の生徒諸君、中学校では、学活の時間や総合的な学習の時間を使って、「キャリア教育」というものを行います。キャリアというのは、「職業」という意味です。みなさん一人一人が将来、どのような職業に就いて人生を送っていくのかということ、学校を卒業してから考えるのではなく、中学校の1年生、2年生、3年生と計画的に学習し、一人一人が自分のこととして生き方を考える時間としています。そのキャリア教育で1年生は毎年、「3 day's チャレンジ」という、春日部市内の全中学校が同じ日に、三日間の職場体験学習を行っています。しかし、今年は、新型コロナウイルスの影響で、そのような貴重な体験学習を行うことができません。そこで、春日部市の地域には、様々な事業所がありますが、その地域の事業所を代表した方々にお越しいただき、1年生の生徒諸君の為に、職業について、どんな仕事の内容なのか、そして、日々のやり甲斐や苦勞などをみなさんにお話をしてくれますので、しっかりとした態度で聴きましょう。

さて、担任の先生や学年の先生から、職業についての話がこれまでも、そして今後もあるとは思いますが、今日は、少しだけ校長の私から話をしたいと思います。

人はなぜ働くのか、ということ考えたことはありますか。私から、その答えのヒントを3つ言います。1つ目は、「自己実現」です。なりたいたと思った職業に就き、がんばることで人はやり甲斐や生きがいを感じられるでしょう。2つ目は、「社会貢献」です。すべての職業は、必ず社会に貢献しています。つまり、世のため、人のためになっているということです。みなさんも「自分の長所や適性」を考えて、どんなことで社会に貢献したいのかを考えてください。3つ目は、生活するために必要なお金を稼ぐということ。お金は自分で働いて手に入れるものです。しかし、この3つ目である、「生きていくために必要なお金」は、1つ目の「自己実現」と2つ目の「社会貢献」ができていれば、自然とお金は手に入ります。ですから、みなさんには、この2つを大切にしてもらいたい。人は自分の人生の大部分を職業人として過ごします。早い者は、生まれてから15年間で義務教育を終え、社会に出ますね。現代の多くの日本人は、だいたい20年くらいしたら、学校を終え、社会に出ますね。社会に出たら、今度は60歳の定年まで、さらに最近では、定年退職後もみなさん元気ですので、働き続ける人が増えています。一日の中でも、寝る時間を除けば、ほとんどが職業人として過ごしているのです。今みなさんも寝る時間を除けば、ほとんどを中学生とし

て過ごしているのと同じですね。ですから、将来は自分のなりたい職業に就き、その職業で社会貢献、つまり世のため人のためになれたら、こんなに幸せなことはありませんよね。どうか中学校時代に、たくさんの職業があることを知り、自分の長所や適性を考えて、義務教育修了後の第一歩をどこに向かって踏み出すのかを考えて、中学時代を過ごしてください。それでは講師の皆様、よろしくお願いします。

令和2年11月19日 春日部市立飯沼中学校長